

# お客様との出会いが 魂を大事にする仕事につながった



スタッフの櫻井ひふみさん(遺品整理士) 代表取締役の千葉優さん スタッフの大橋洋一さん

整理業ゆうしんは、遺品整理・生前整理・片付けなど、整理業全般を手がける会社だ。亡くなられたお身内のお片づけはもちろん、通常のハウスクリーニングや、手をこまねいているうちに簡単に片付けることができなくなった実家や親戚の家など、様々な場面での整理作業を請け負ってくれる。もともとの本業は「優信工房」というリフォーム全般を扱う実績のある会社。遺品整理、片付けに伴うプチリフォームや解体工事はもちろん、総合的なリフォーム工事まで安心して相談できる。

整理業を始めるきっかけになったのは、リフォーム業のお客様からの、お身内ご逝去に伴う整理のご相談。リフォームに関する部分はもちろん通常業務として受託、それ以外の整理をボランティアで行っていた。しかしあまりにも件数が多くなったことから仕事として本気で行くことを決意。スタッフも遺品整理士の資格を取得し、本格的にオープンしたのが昨年の2016年8月のことだ。お客様からの問い合わせ後、お宅に伺い現状確認を行う。部屋数、不用品の数量の書き出し、写真も撮

り、しっかりとお客様のご要望を聞き取りし見積を提示する。「あまり急がずじっくり取り組む方が、最終的に良い仕事ができると考えています」と代表の千葉優さん。お客様が不要品としてまとめたものも一度開封して確認する。通帳や書類など、見落とししていた思いがけない品物が出てくることもあるそうだ。そういったものはもちろんお客様に返却する。遠方など、現場に行けない方には写真でのご報告も欠かさない。

遺品整理作業で最もこだわるところは、故人への思い。作業の前にはお部屋で供養をさせていただく。仏壇や神棚もただ廃棄することはなく、魂抜きをし、供養してから処分する。昨年は遺品整理の優良事業所として推薦されているが、それは廃棄物の適正な処理や丁寧な仕事ぶりはもちろん、こういった魂の部分を大事にする姿勢が感じられるからなのかもしれない。高齢化社会の中で、自分も身内も周辺の整理を考えることも増えるだろう。そんな時に「整理業ゆうしん」を思い出して相談することで、スムーズで安心できる解決策を見つけて欲しい。



1宮城ではまだ数少ない業種であるため、区役所や地域包括支援センターなどを歩き、名前を知ってもらうことから始めたという 2ミニチュア古民家はお得意様お手製の大作。イベントなどでもご披露するとか。整理業で関わったお客様からリフォームの仕事が入ることもあるそうだ。すべてのご縁を大事にするからだろう 3老人ホームで亡くなられた方のお品物は、一度持ち帰って供養して整理作業に入る



お片づけに入る前にご供養をさせていただく。供養をお願いする僧侶は、ご葬儀をお願いした方でも構わないし、整理業ゆうしんで依頼することもできる

(社)遺品整理士認定協会推薦優良事業所  
**有限会社 優信工房**  
**整理業 ゆうしん**  
**Tel.022-390-6121**



仙台市若林区六丁の目南町1-16

整理業 ゆうしん 検索